



屯田



【すぐーる配信】

令和8(2026)年9月30日

学校便り 特別号
札幌市立屯田小学校

全国学力・学習状況調査の結果について

日頃より本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、本年度4月、全国の6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果をお知らせいたします。個別の調査の結果については、6年生の各家庭に本日お渡ししています。

【分析の考え方】

国語、算数の学力調査結果、および学習や生活の様子に関する質問調査結果について記述しています。本調査によって測定できるのは、児童の学力の一つの側面であります。今回の調査結果を分析することで、本校児童の学習状況の傾向や課題を明らかにし、今後の教育課程編成や教育活動の改善に生かしてまいります。

【学力状況についての調査結果から】

【国語】

本校の概要

【内容】

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」
 - ・全国平均よりも下回っている。
- 「話すこと・聞くこと」
 - ・全国平均よりも下回っている。
- 「書くこと」
 - ・全国平均よりも下回っている。
- 「読むこと」
 - ・全国平均よりも下回っている。

今回の調査における課題

- 漢字を文の中で正しく使うこと。
- 話や文章の種類、特徴について理解すること。
- 話の中心を明確にし、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。
- 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。

改善の方向

- 漢字ドリルを効果的に使い、各学年において学年別漢字配当表に示されている漢字の読み書きを定着できるようにする。
- 各教科の学習や読書などを通して、多くの文章に触れる機会をつくる。
- 様々な学習場面におけるテーマに沿った話し合い活動を通して、話題を決めたり、集めた材料を分類したり関係付けたりしながら考えを伝え合う学習活動を充実させる。
- 感想文や意見文を書く活動を通して、事実と感想、意見とを区別して書くなど、読み手に伝えることを意識して作文できるように指導していく。
- 国語の学習や読書活動などを通して、文章の内容を捉え、自分の経験と結び付けてまとめる活動を取り入れる。

【全国の平均正答率と比較して、以下の規準でお伝えしています】

- ・+3.1ポイント以上 →「全国平均よりも上回っている。」
- ・+3.0ポイントの範囲内で全国平均以上 →「全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている」
- ・全国平均正答率と同じ →「全国平均と同程度である。」
- ・-3.0ポイントの範囲内で全国平均以下 →「全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている」
- ・-3.1ポイント以下 →「全国平均よりも下回っている。」

【学力状況についての調査結果から】 【算数】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 ☐ 「数と計算」 ・全国平均よりも下回っている。 ☐ 「図形」 ・全国平均よりも下回っている。 ☐ 「測定」「変化と関係」 ・全国平均よりも下回っている。 ☐ 「データの活用」 ・全国平均よりも下回っている。	●概数での表し方、整数と小数の計算、異分母分数の大小を判断すること。 ●直方体や立方体の性質を理解し、体積を求めること。 ●基準量、比較量、割合について理解すること。 ●表やグラフの特徴を理解し、必要な数値を読み取ること。	○概数、小数、分数のそれぞれの仕組みについて、またその計算の仕方について理解を深める活動を充実させる。 ○立体の観察や構成などの数学的活動を充実させると共に、体積を求める学習にもより力を入れていく。 ○単位量あたりの大きさについて、求め方だけでなく、式の意味についての理解を深める学習活動を充実させる。 ○日常の事象について、目的に応じて、表やグラフから必要なデータを収集し、データの傾向や特徴を捉え、考察する活動を充実させる。

【学習や生活の状況についての質問調査から】

全国と比較して差異の大きい質問、本校の児童の傾向が顕著に見られる質問について記述しています。

○肯定的な回答割合が高いといえる質問

- ①『自分にはよいところがあると思いますか』
- ②『困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか』

●肯定的な回答割合が低いといえる質問

- ③『今回の国語、算数の問題では、文章を書く問題がありました。最後まで解答を書こうと努力しましたか。』

分析および、改善に向けて

- ① 本校では今年度も、「一人一人がとんでんACE(エース)」を合言葉に、子どもの「自分らしさ」が大切にされ、多様性が生かされる学校を目指して教育活動を行っているところです。今後も6年生のキャリア教育「未来へのステップ」をはじめ、様々な教育活動を通して自分のよさを実感したり、発見したりできる場の創出を図っていきます。
- ② 本校では、授業時間だけでなく、朝や帰りの時間、休み時間などに、玄関、体育館、グラウンドなどの場において、多くの目で日々子どもたちを見守っています。今後も、学級、学年の担任はもちろんのこと、全ての教職員で、本校児童の成長を支えていきます。
- ③ 自分の考えを書くことを途中であきらめたり、全く書かなかったりした児童の割合が高いことを意味しています。日々の学習活動の中で、どの教科でもまずは自分の考えをもつこと、その考えを言葉にすることの大切さを指導します。そのうえで、何事にもあきらめずに粘り強く取り組むこと、間違いを恐れずに挑戦することについて、どの学年においても継続して指導していきます。